

お金の大切さ実感



お札を観察する子どもたち＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫大信ホール

大垣西濃信金で親子金融教室

大垣西濃信用金庫主催の夏休み親子金融教室が8日、大垣市恵比寿町の同金庫本部で開かれ、子どもたちがお金大切さを学んだ。

小学生が対象で、西濃地域の児童32人と母親らが参

加。貸金庫や現金自動預払機(ATM)の裏側を見て回ったほか、紙幣計算機や

硬貨自動包装機を使ってみたり、重さ10キの現金1億円を持ち上げたりした。

岐阜大教育学部の大藪千穂教授(家庭経済学)による講演もあり、児童がお金についてクイズ形式で学習。お札をじっくり観察し、透かしやマイクロ文字といった偽造防止の工夫を見つけた。

大藪教授は「お金は働かないと手に入らない。子どもが学校に行けるのは、誰かが働いてくれているおかげ」とも伝え、養老町の上多度小2年安福舞愛さん(7)は「無駄遣いしないで、うちではお風呂掃除を頑張りたい」と話していた。

(井上愛)